

学校長の挨拶

千曲市立更級小学校長
児玉 淳子

更級小学校は、明治6年に羽尾村旧堂を仮校舎として教授を開始し、翌年明治7年に、羽尾村・須坂村・若宮村の3つの村の申合組合が、現在地(羽尾1864番地)に開校した鼎立(ていりつ)学校を前身としています。以後、明治・大正・昭和・平成と140年以上にわたって数多くの人材を輩出しています。



青空の下の明るい昇降口

平成16年11月に建て替えられた現在校舎は、教室や廊下、階段など校舎全体に木目が美しく整えられた木材がふんだんに使われています。特に、2階までの高い吹き抜けの昇降口ホールが特徴です。また、千曲市のシンボルの一つ冠着山(姨捨山)を見ることができます。

自然豊かで、美しく整った学校環境のもと、更級小学校の子どもたちは、毎日楽しく元気に生活しております。

学校教育目標

「目を上げ、手を組み、たくましく進む子」

この目標は、昭和45年に明治以来の木造校舎から鉄筋コンクリートの校舎に改築されたことを記念して建立された、笹村草家人作『騎馬戦の像』に由来しています。玄関の東側に建つこの像は、校舎正面にそびえる冠着山に正対し、真っ直ぐな眼差しを遙か冠着山の山頂に向けています。そのりりしい眼差し、友と手を組み合って歩む姿に、更級の子どもの理想の姿を重ね、「目標に向かって、協力し たくましく生きる子ども」の育成を、本校の教育目標としています。



冠着山を見る「騎馬戦の像」



学校正面にそびえる冠着山

《重点目標》

- わかったことをもとに、深く考えよう！
- 自分の考えを、相手に伝えよう！

《重点活動》

「チャレンジタイム」

毎朝、昇降口から元気な子どもたちの挨拶の音が響いています。

授業や集会活動、児童会、縦割り活動など、さまざまな活動の中で、しっかり自分の考えを発表する子どもたちが増えてきました。

一人一人の子どもたちが、心や体、学習、様々な面から、「確かな力」をつけること、そして、将来にわたって自信を持って生きていく力をつけていくために、更級小学校職員一同、授業の充実はもちろん、子どもたち一人一人が、充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、努めて参ります。

本校では、かねてより「『つながり』による、楽しい更級小学校づくり」を進めて参りました。友だちとのつながり、先生とのつながり、家族とのつながり、地域の方とのつながり、更級の自然や文化、伝統とのつながり……。更級小学校は、たくさんの「温かな」つながりがあります。この「つながり」を通して学ぶことによって、更級の子どもたちは、より健やかに、よりたくましく成長してくれることと信じております。

どうか、よろしく願いいたします。

(平成29年4月)